

一般質問通告表

平成18年第4回沖縄県議会(定例会)

10月03日(火)

順位	時間	氏名 (会派)	答弁を求める者
1	17分	比嘉 京子(社大・結連合)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
1	医療行政について(稲嶺県政の医療行政を検証する)		
	(1) 県立病院事業について		
	ア 医師の就労環境について		
	(ア) 「夜勤明けは休む」という当然の権利は守られているか。 (イ) 週一日の休日は与えられているか。 (ロ) 健康が保たれる最小限の睡眠は確保されているか。 (ハ) 過重労働はいつまでに解消される見通しか。 (ニ) 女性医師の持続可能な就労環境はどのように考えているか。		
	イ 医師等の過労死(交通事故、自殺を含む)は何名か。		
	ウ 医師等の医療従事者のモチベーションを高めるにはどのような施策が必要か。		
	エ 病院の役割について		
	(ア) 担うべき医療の範囲として急性期を過ぎた入院患者は地域の医療機関へ適宜紹介していくとしているが、体制はどうなっているか。		
	オ 病院の機能について		
	(ア) 小児医療、離島・僻地医療など不採算医療費はどれくらいか。		
	カ 診療報酬改定(今年4月)により看護師増員の要求があるが定数に縛られ採用できない。定数を見直すことができない、障害は何か。		
	キ 経営の健全化について		
	(ア) 未収金問題は、いまだ抜本的な解決策が見えない。どのような施策があるか。		
	(イ) 地方公営企業法施行令により行政医療に係る経費は一般会計が負担すると定めており、公的負担分野と独立採算分野を明確にする必要があるがどうか。		
	(ロ) これまでの累積欠損金は地方公営企業法の全部適用への移行を機にどのように整理されるのか。		
	ク 医師等医療従事者の養成、確保について		
	(ア) 慢性的な医師不足の解消に向けて具体的な実施計画を問う。		
	(イ) 県立浦添看護学校における看護師養成の必要性をどのように考えているか。		
	(ロ) 宮古や八重山病院の医師及び看護師等の地元出身者の割合はどうなっているか。地元出身者の養成と離島勤務義務化の検討が必要と考えるがどうか。		
	ケ 八重山病院は老朽化に伴い漏電による焦げにおいがたびたび起きている。職員数の少ない夜間は恐怖であるという、対策はどうなっているか。		
2	八重山地方を直撃した台風13号被害について		
	(1) 2003年の宮古島台風の教訓は生かされていたか。		
	(2) 電線の地中埋設の実現にむけて課題は何か。		
3	我が会派の代表質問との関連について		

一般質問通告表

平成18年第4回沖縄県議会(定例会)

10月03日(火)

順位	時間	氏名 (会派)	答弁を求める者
2	17分	呉屋 宏(維新の会)	知事 関係部長等
質問要旨			
1	<p>自立型経済について</p> <p>(1) 沖縄振興計画について</p> <p>ア 新振計のこれまでの実績と展望について説明してください。</p> <p>イ 知事は、御自分の手で路線を引いた新振計の終点の5年先は沖縄の自立型経済は完成していますか。</p> <p>ウ 平成10年と17年の振興事業費の額とその差は幾らか伺います。(補正後ベース)</p> <p>(2) 沖縄の産業構造について</p> <p>ア 沖縄の産業構造、つまり産業別就業者人口は今までのままでよいか。</p> <p>イ 産業別就業者人口の今後の伸びはどこに期待できるでしょうか。</p> <p>ウ 産業別就業者人口割合の理想をお聞かせください。</p> <p>エ 建設業の平成10年から17年までの倒産件数と負債額、失業者数を伺います。</p> <p>(3) 沖縄県物産公社について</p> <p>ア 沖縄県物産公社の過去10年を振り返っての総括をお聞かせください。</p> <p>イ 物産公社の設立趣旨と現状をお聞かせください。</p> <p>ウ 物産公社の今後の展望についてお聞かせください。</p> <p>エ 物産公社の事業主体と責任について明確にしてください。</p> <p>(4) 国際交流の推進について</p> <p>ア 国際交流における経済交流の目的について</p> <p>イ 現在の国際的な経済交流は何か国と行い、その成果について伺います。</p> <p>ウ 現在、経済交流は上海を中心としているようですが、そのほかの国や地域の状況を伺います。</p> <p>エ 台湾との経済交流について現状を伺います。</p> <p>オ 今後の具体的な展望をお聞かせください。</p> <p>カ 外国との経済交流と沖縄の自立型経済との関係についてお答えください。</p> <p>キ 米国準州グアムとの経済交流の可能性を伺う。</p> <p>ク 外国と貿易でどれだけの外貨を稼いでいるか伺う。(年間)</p> <p>(5) 沖縄観光について</p> <p>ア 沖縄観光産業は自立型経済に貢献できるか。</p> <p>イ 国際的海洋性リゾート地の具体的な計画と展望について</p> <p>ウ 那覇空港を観光客の中継基地(対東南アジア)として考えたことはないか。</p> <p>(6) 琉球がわらのその後の現状について説明願いたい。</p>		
2	<p>沖縄の公共交通と交通拠点について</p>		

(1) 公共交通について

- ア 知事は、現在の公共交通のあり方が現状でよいのかを伺います。
- イ モノレール事業計画の現状と今後を説明してください。
- ウ 沖縄の交通拠点はどこか伺います。
- エ 都市地区（那覇地域）の渋滞解消策があれば、御提示ください。

(2) 沖縄県の交通渋滞の要因について

- ア 交通渋滞の要因はどこにあると考えていますか。
- イ 交通渋滞と米軍基地についての関係があるかお聞きします。
- ウ これまでの交通政策の失政が現在のさまざまな課題との関係はないか。
- エ 交通政策を全庁的に話し合ったことがあるかお答えください。

一般質問通告表

平成18年第4回沖縄県議会(定例会)

10月03日(火)

順位	時間	氏名 (会派)	答弁を求める者
3	17分	赤嶺 昇(維新の会)	知事
質問要旨			
1	稲嶺知事の政治姿勢・選挙公約・8年間の総括について		
(1)	小泉政権の沖縄に対する取り組みに点数をつけると何点ですか。		
(2)	沖縄の政策に対して次期政権に何を期待するかを伺う。		
(3)	稲嶺県政が誕生してからこれまでの本県の起債残高の推移を伺う。		
(4)	稲嶺県政が誕生してからこれまでの税収の推移を伺う。		
(5)	稲嶺県政が誕生してからこれまでの振興事業費の推移を伺う。		
(6)	稲嶺県政が誕生してからこれまでの公共事業費(本工事費)の発注実績の推移を伺う。		
(7)	稲嶺県政が誕生してからこれまでの建設業者の倒産件数と負債金額の推移と総額を伺う。		
(8)	稲嶺県政が誕生してからこれまでの観光客1人当たりの消費額の推移を伺う。		
(9)	タクシー業界の規制緩和の一方でレンタカーの急速な普及、そのすみ分けとバランスを知事としてリーダーシップを発揮することができたかを伺う。		
(10)	稲嶺県政が誕生してからこれまでの失業者の推移を伺う。		
(11)	稲嶺県政が誕生してからこれまでの15歳から19歳及び20歳から24歳年齢階級別の失業率の推移を伺う。		
(12)	稲嶺県政が誕生してからこれまでの県民1人当たりの平均所得の推移を伺う。		
(13)	稲嶺県政が誕生してからこれまでの正規社員とパート・アルバイトの推移を伺う。		
(14)	稲嶺県政は、基地問題解決に対して主体性はありましたか。国との交渉力はどうか。知事の見解を伺う。		
(15)	2期8年間で普天間基地問題の解決ができなかったことは事実であります。知事の見解を伺う。		
(16)	知事在任期間中に米軍ヘリが沖縄国際大学に墜落しました。普天間基地は、今でも危険な状況です。知事は在任期間に危険除去ができなかったことについての見解を伺う。		
(17)	米軍再編に伴う基地従業員の雇用対策について知事の見解を伺う。		
(18)	知事は基地跡地利用の道筋をつけることができたかを伺う。		
(19)	知事提案の暫定ヘリパッド案の実現性についての見解を伺う。		
(20)	稲嶺知事の後継者は、新沿岸案に対するスタンスを踏襲すべきと考えるか。		
(21)	稲嶺知事の後継者は、暫定ヘリパッド案を踏襲すべきと考えるか。		
(22)	稲嶺県政が誕生してからの合計特殊出生率の推移を伺う。		
(23)	稲嶺県政が誕生してからの県立病院において休止した診療科を伺う。		
(24)	稲嶺県政が誕生してからの県立病院の財政状況の推移を伺う。		
(25)	稲嶺県政が誕生してからの児童虐待の推移を伺う。		

(26) 稲嶺県政は、大田県政と比較して何がすぐれていましたか。また、何がすぐれていませんでしたか。稲嶺知事の自己総括を伺う。

2 基地問題について

- (1) 振興策と基地の受け入れはリンクしているかを伺う。
- (2) 振興策の出来高払いについての県の考えを伺う。

3 児童福祉について

- (1) 厚生労働省は23日、少子化対策の一環として、将来の合計特殊出生率を現在の1.25から1.40程度まで高める目標値を新設する方針を固めたとのことですが、本県も独自の目標値(2.08)を設けて沖縄に合った少子化対策予算を国に求めている考えはないかを伺う。
- (2) 認可外保育施設に対する支援策(ミルクを毎日現物支給、ゼロ歳児への粉ミルク支給、給食の支給、教材費の補助、行事費の補助等)を次年度から実施するべきではないか。
- (3) 公立保育所の一般財源化に伴う影響が明らかになりました。法人保育所が一般財源化された場合、どの程度影響があるかを伺う。
- (4) 市町村別の児童虐待の現状と課題と対策を伺う。
- (5) 児童相談所のない八重山・宮古地域へ児童虐待に対応する専門員を配置するべきではないか。
- (6) 学童保育の大規模化・待機学童の解消、施設の公設化を進めるために、県として学童保育の設置・運営基準の策定をするべきではないか。
- (7) 障害児学童受け入れに対する補助額の現状と課題と対策を伺う。

4 教育行政について

- (1) 本県における指導力不足教員の現状と課題と対策を伺う。
- (2) 次期安倍政権で検討されると予定の「教育のバウチャー制度」について教育長の見解を伺う。

5 医療行政について

- (1) 稲嶺知事は、県立病院の各院長と直接お会いしたそうですが、話した内容やお会いした時間はどの程度でしたか。
- (2) 県立中部病院の現状と課題と対策を伺う。
- (3) 県立宮古病院の脳外科医療の現状と課題と対策を伺う。
- (4) 老朽化した県立宮古病院の建てかえのスケジュールを伺う。
- (5) 全国的に不足している産婦人科医師や脳外科医師への手当を設けるべきではないか。
- (6) 女性医師の職場環境や勤務体制の整備が必要不可欠だと考えるが、県の見解を伺う。

6 観光商工行政について

- (1) 外国人観光客の推移の現状と課題と対策を伺う。
- (2) 台湾人観光客推移の現状と課題と対策を伺う。
- (3) 県物産公社の経常損益の原因と経営責任を問う。
- (4) わしたショップの経営状況を伺う。

7 那覇港湾について

- (1) 港湾副管理者の処遇（退職金の状況）を伺う。
- (2) 港湾整備計画の進捗状況を伺う。
- (3) 港湾組合の財政状況を伺う。

8 警察行政について

- (1) 児童虐待の増加に伴い、各都道府県の警察も積極的に虐待の未然防止に取り組むようですが、その概要を伺う。
- (2) 警察庁は、治安再生に向けた7つの重点を8月にまとめましたが、本県はどのように取り組んでいくのかを伺う。
- (3) 犯罪防止と子供たちを守るために防犯ベル付自動販売機の設置促進をしてはどうか。

一般質問通告表

平成18年第4回沖縄県議会(定例会)

10月03日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
4	17分	當間 盛夫(維新の会)	知事 関係部長等
質問要旨			
1	知事の政治姿勢について		
(1)	稲嶺県政2期・8年で沖縄振興事業費・公共事業費・県債残高・失業率・県民所得は、どのような状況であるか。その結果は公約を果たせたと考えるか。		
(2)	米軍基地問題は「現実的対応」とあったが、8年で何が解決したと考えるか。焦点である普天間基地移設問題には、政府と県には「大きな溝」があると思うが、残された期間でどのように解決するのか伺う。		
(3)	他県に比べて本県の市町村合併は進んでいない。県内市町村の財政は危機的状況にあり早急な県の対応が求められている。市町村の財政・合併・道州制のあり方も含めて知事の考えを伺う。		
(4)	公正取引委員会の県工事談合問題で、課徴金・損害賠償金は約110億円である。このことは、沖縄の経済や失業率に大きなダメージを与えると予想されるが、県のこれまでの指導や県職員の建設業への天下りを含めて、県当局の責任と県内経済や雇用関係の対応を伺う。		
(5)	小泉総理は、知事退職金は高すぎるとの批判がありましたが、1期目に4000万円余りの退職金をもらった知事は、今回、条例改正を提出しているが、特別職の退職金問題をどのように考えるか。		
(6)	次の知事の何を期待するか。		
2	保健医療計画について		
(1)	平成16年に改訂された「沖縄県保健医療計画」は、医療提供体制・離島医療・県民の健康づくり・医師の確保等、目標年度を待たずに見直しが必要と考えるが、県として財政面を含めて今後どのように対応していくのか。		
(2)	本県の男女の肥満度は全国に比べて高いとの指摘は以前からある。平均寿命の「26ショック」は改善されたのか。現状分析・成果と新たな改善策を伺う。		
(3)	地域の医療機関等の情報提供体制、連携は重要なことである。地域医師会との連携で県医療システムをどのように構築するのか。		
(4)	離島の救急医療体制の中で、ドクターヘリの導入は離島、僻地医療の充実に必要と考えるが検討はあるか。		
(5)	南部病院の経営移譲や旧那覇病院の売却で、どのような改善ができたのか。移譲先との問題点はないか。		
(6)	県民は、適切な医療や医療機関等を選択するための情報を求めています。総合的に県内の医療機関を網羅した情報提供をどのように検討するか。		
3	振興計画について		
(1)	振興計画の5年をどのように検証しているか。「残された5年」で自立型経済構築の実現に向けてのさらなる戦略はあるか。		
(2)	全国一の経済成長力と本県は評価された。しかし、県民総所得に占める公的支出の割合が大きいことや労働者現金給与総額増加率が47位であることなど現実との差があると思うが、沖縄経済の実態をどのようにとえているか。		
(3)	観光政策への予算の配分は、県の重要産業との認識の中で、これでいいと考えるか。観光予算の獲得に知恵はあるか。		

(4) 自立型経済に「第一次産業」「第二次産業」の振興は重要であるが、本県の「ものづくり」の占める割合は極端に低いのが現状である。打開策を伺う。

(5) 国際航空路線の状況について

ア この5年間の国際航空路線はどのような状況でしょうか。

イ 北京路線等、新規路線の確保はどのように進んでいるのか。

ウ 中国と台湾の直行チャーター旅客便の拡大や貨物便運航は、沖縄への影響をどのように考えるか。

エ 台湾とのトランジットが活用されない現状をどのように考え、対応策を伺う。

(6) 旧軍飛行場問題について

ア 知事の任期中に、県が解決策やスケジュールを作成できるのか伺う。

イ 「事業可能性調査費」等で那覇をモデルにと考えているが、読谷村がモデルケースではないか、読谷の法人組織への支援を県としてどのように考えているのか。

ウ 国との進捗状況はどのようになっているのか。

4 県中央卸売市場売買参加者協同組合の集出荷施設整備事業について

一般質問通告表

平成18年第4回沖縄県議会(定例会)

10月03日(火)

順位	時間	氏名 (会派)	答弁を求める者
5	17分	安里 進(自民党)	知事 関係部長等
質問要旨			
1	<p>「犯罪」からの安全・安心について</p> <p>(1) 今年1月から5月までに補導された少年は前年同期より2616人(20.0%)増になっているが、警察の取り組みはどうなっているか。</p> <p>(2) 暴行などの「粗暴犯」は173人で前年より58人(50.4%)ふえ深刻な状況だが、対策はどうか。</p> <p>(3) 少年問題について県教育庁の対応はどうなっているか。</p>		
2	<p>「食」の安全・安心について</p> <p>(1) BSE(牛海綿状脳症)問題をきっかけに、食の安全・安心に対する県民の皆さんの関心が高まっているが、農林水産部の取り組みはどうか。</p>		
3	<p>「子供」たちの安全・安心について</p> <p>(1) 犯罪が多発している登下校時の安全を確保することが急務です。具体的な対策についてお伺いします。</p> <p>(2) 子供を犯罪から守るためには、学校周辺を中心にした地域ぐるみの対策も不可欠で、緊急通報装置の設置など、犯罪が起こりにくい環境の整備が必要と思うがどうか。</p>		
4	<p>「災害」からの安全・安心について</p> <p>(1) いつ、だれが被害者になるかわからない災害への対策は、日ごろから心構えが大切です。「安全・安心に価値を見出し行動へ」をキャッチフレーズに定め、自助、共助、公助の取り組みによる継続的県民運動を推進すべきだが、その対策はどうなっているか。</p> <p>(2) 平成16年に新潟県や福井県で発生した一連の風水害では多くの高齢者が逃げおくれ、被害者となってしまいました。そのことを教訓として、災害時の避難支援の問題点を検証するとともに、ガイドラインの策定など、徹底した措置を講じるべきと思うがどうなっているか。</p>		
5	<p>植物の安全について</p> <p>(1) 松くい虫対策について</p>		
6	<p>我が党の代表質問との関連について</p>		

一般質問通告表

平成18年第4回沖縄県議会(定例会)

10月03日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
6	17分	親川 盛一(自民党)	知事 関係部長等
質問要旨			
1	米軍基地の返還に伴う県の対応について		
(1)	日米両政府の米軍再編問題協議において、牧港補給基地等5基地の返還が明示されたが、具体的にいつ返還されるか明らかではない。国と県との調整状況及び今後の作業スケジュールについて伺いたい。		
(2)	在沖海兵隊約9000人の削減は、県内の雇用情勢に大きく影響すると思うが、事前の状況把握や調整等県の対応状況について伺いたい。		
(3)	普天間飛行場の返還に伴う混乱を防止するため、国や米軍側との事前の調整、情報の共有は必要であると思うが、県の考え方について聞きたい。		
(4)	普天間飛行場内の文化財の発掘調査については、どのように考えているか。		
(5)	普天間飛行場の返還後の跡地利用計画については、どのように考え、進めているか。		
2	旧軍飛行場用地問題について		
(1)	県は、問題解決に当たっては、振興計画の趣旨に沿った団体補償で解決を目指しているが、振興計画の後期に入った現在、間に合うか懸念されるが、県の今後の処理方針について伺いたい。		
(2)	県が具体的手続に入れない理由は、地主全体の合意が得られないことにあるのか聞きたい。		
(3)	団体補償での解決を図るには地主会全体の合意は必須条件なのか、法的要件なのか伺いたい。		
(4)	県が団体補償の具体案をまとめるためには、地主会から団体補償の事業案が出てくることが前提なのか伺いたい。		
(5)	2007年度からの沖縄振興計画の後期展望において、旧軍飛行場用地問題はどのような位置づけで処理していく考えか伺いたい。		
3	行財政改革の推進について		
(1)	「沖縄県行財政改革プラン」が策定され、平成18年から平成21年までの改革目標が設定されたが、実施期間4年間に重点的・集中的に改革を実施する主な項目は何か。		
(2)	平成12年4月から地方分権法が施行され、地方において自己決定・自己責任のもとで行政運営が求められているが、「沖縄県行財政改革プラン」の基本目標にどのように生かされているか。		
(3)	行財政改革は、行政事務の効率化、迅速化、行政資源の合理的活用につなげる必要があるが、同時にこれは県民の目線に沿った改革でなければならないと考える。行財政改革プランにはこの精神はどのように反映されているか。		
(4)	行財政改革の目標達成を図るには、地方分権の趣旨に沿った市町村の役割の強化が必要である。このため市町村への権限移譲はどのように行われているか、進捗状況と今後の方向性について伺いたい。		
(5)	県は、行財政改革の一環として職員の勤務評価制度を実施するとしている。ねらいは職員の人事・給与制度の見直しにあるようであるが、実施に至った理由と制度の仕組み等について伺いたい。		

4 市町村財政の現状について

- (1) 市町村の予算は、3年連続のマイナス緊縮型予算となり、財政調整基金や減額基金を取り崩すなど危機的状況にある市町村も少なくないと思うが、県の指導、支援はどのように行われているか伺いたい。
- (2) 財政基盤の脆弱な離島町村においては、特に深刻であると言われていたが、現状と今後の見通しについて伺いたい。
- (3) 国は、人口と面積を基本に算定する新型の地方交付税導入を検討しているようであるが、新型地方交付税導入のねらいと導入された場合のメリットとデメリットについて伺いたい。
- (4) 県は、新型地方交付税が導入された場合の本県市町村への影響度を計算したようであるが、その結果と今後の市町村財政に与える影響について伺いたい。

5 廃棄物等処理対策について

(1) 廃自動車の適正処理について

- ア 自動車リサイクル法の実施に伴い、本県における使用済み自動車のリサイクル及び適正処理の状況について伺いたい。
- イ 自動車リサイクル法の実施に伴い、廃自動車の不法投棄等ほどの程度減少したか。また、不法投棄の現状はどうなっているか。
- ウ 不法投棄や不適正処理等の環境被害に対応する「美ら島環境クリーン作戦対策本部」の活動実績について伺いたい。
- エ 離島における廃自動車の適正処理は離島住民の悲願であるが、野積み廃自動車処理の現状はどうなっているか。

(2) 廃棄物処理対策について

- ア 県は、公共関与による産業廃棄物最終処分場の建設予定地を8カ所に絞り込んできたようであるが、最終的な候補地選定の基本的な考え方と事業主体に参加する民間企業の選定方針について伺いたい。
- イ 産業廃棄物処理業者が設置している管理型最終処分場は、処理能力が限界に近づいているようであり、新たな施設設置を計画しても地域住民等の反対で撤退を余儀なくされるのが現状である。県は、計画に当たって処理業者、関係市町村等との連携や事業協議が必要であると思うが、どうなっているか。
- ウ 家電リサイクル法の施行に伴い、処理する家電のリサイクル処理が義務づけられているが、県内における処理の現状について伺う。
- エ 一般廃棄物の処理に関しては市町村の固有事務となっているようであるが、処分場の処理能力は逼迫していると聞いているが、現状はどうなっているか。また、市町村における整備計画と県の指導及び支援の状況はどうなっているか。

(3) アスベスト問題について

- ア アスベスト（石綿）飛散のおそれのある施設について県がこれまで行ってきた対策と今後の対策が必要とされる施設の状況について伺いたい。
- イ 文部科学省が行った全国の教育関連施設のアスベスト使用実態調査で、本県の学校は4校がアスベスト飛散のおそれのある施設とされたようであるが、対策は十分なされているか。
- ウ アスベストによる健康被害救済法の施行により、県内における給付申請や相談件数、職種の状況等はどうなっているか。

6 農林土木行政等について

- (1) 南城市大里在の稲福ダムの改修状況等はどうなっているか。また、農業用水等としての利活用状況について伺いたい。
- (2) 南城市大里在の大城ダムの現状及び改修計画等の有無等について伺いたい。
- (3) さとうきび生産の振興策と平成19年度産のさとうきびから実施されるという制度の内容及び農家への指導及び体制の状況等について伺いたい。

7 土木建築部関係について

(1) 道路整備と電線地中化について

- ア 本県における交通渋滞の激しい地域はどこか。
- イ 那覇市内道路における交通渋滞の原因及び対策について伺う。
- ウ 交通渋滞の解消として最も効果的な対策について伺いたい。
- エ 国道507号（那覇具志頭線）の整備については、南風原町山川の那覇自動車道から八重瀬町屋宜原までの一部区間については供用開始されているが、残りの島尻教育事務所付近までは未整備の状況となっている。特に国道507号と県道77号線との交差する東風平三差路付近は交通量が多く、道路の幅員が狭隘なため慢性的な交通渋滞で大雨時に冠水し、住宅等の床下浸水を誘発させる等地域住民に悪影響を及ぼしており、早急に整備が必要であると思うが、県の対応策について伺いたい。
- オ 本県における電線地中化の現状について伺いたい。
- カ 特に市街地内における電線地中化は、交通渋滞や事故の解消につながるものであり、都市の景観にも大きく寄与するものであり、早急な整備が必要であると思うが、県の考え方について伺いたい。

(2) 海岸護岸等の整備について

- ア 与那原町内の与那原東小学校から既存市街地に至る直立式護岸については、マリンタウンプロジェクト事業で行われる親水性護岸との均衡を図り、早急に整備していく必要があると思うが、県の考え方について伺いたい。
- イ 南城市字仲伊保から同市字久原までの区間の海岸護岸については、昭和56年に海岸保全地区に指定され年次的に整備されてきたが、約200メートルが未整備のため、付近の民家や農地等に冠水被害を頻繁に引き起こし、市当局としても台風のたびに砂利の撤去をする等緊急作業（浸水対策）を余儀なくされている状況で苦慮しており、県の今後の対応策等について伺いたい。

一般質問通告表

平成18年第4回沖縄県議会(定例会)

10月03日(火)

順位	時間	氏名 (会派)	答弁を求める者
7	17分	上原 章(公明県民会議)	知事 関係部長等
質問要旨			
1	<p>行財政改革について</p> <p>(1) 県財政の現状と課題及び対策を伺います。</p> <p>(2) これまでの取り組みと成果を伺います。</p> <p>(3) 行政のむだ遣いを一掃することが求められているが、職員の意識改革について具体的な取り組み及び成果をお聞かせください。</p>		
2	<p>福祉行政について</p> <p>(1) 出産一時金の支給額が10月1日より30万円から35万円に引き上げられ、支払い方法も保険者(市町村)から医療機関に直接支給する仕組みができました。これで本人が出産費を事前に準備する必要はなくなり大変喜ばれています。しかしながら、実施は各保険者(市町村)の任意での取り組みとなり速やかな対応が待たれます。県内はどうなっているのか伺います。</p> <p>(2) 県内の出産費用の平均額は幾らか。また、出産一時金の引き上げとともに出産費用が上がらないかとの声もあるが、実態はどうなのか伺います。</p> <p>(3) 「認定こども園」の効果と課題及び条例の実施計画はどうなっているのか伺います。</p> <p>(4) 小児救急電話相談事業(#8000)の県内での早期実施が求められていますが、見解を伺います。</p> <p>(5) 宮古の児童養護施設「漲水学園」・「あけぼの学園」は老朽化し、早急な改築が必要です。社会福祉事業団だけでは対応は難しく県の支援が必要と考えるが、見解を伺います。</p> <p>(6) 石垣市の児童養護施設「ならさ」にいる児童で、本来本島で養護し見守る方がよいケースがあると聞くが、対応を伺います。また、本島内の一時保護所の整備拡充はどうなっているのか伺います。</p> <p>(7) 6月に制定された「がん対策基本法」の内容をお聞かせください。</p> <p>(8) 全国どこに住んでいても平等に質の高いがん治療を受けられる「がん診療連携拠点病院」が全国でふえています。本県の取り組みはどうなっているのか伺います。</p>		
3	<p>安全・安心なまちづくりについて</p> <p>(1) 子供たちが犯罪に巻き込まれないため地域で父母等の見守り隊が発足していますが、防犯の専門家による指導体制が必要との声があります。スクールガード・リーダー等の防犯指導の取り組みはどうなっているかお聞かせください。また、子供たちを守る防犯体制について学校・警察・県の対応を伺います。</p> <p>(2) 埼玉県で発生した市営プール女児死亡事故は大変痛ましく、二度とこのような事故が起きないように万全な対策が必要です。県が管理する公共施設の安全点検の取り組み状況を伺います。また、市町村管理の公共施設はどうなっているのか伺います。</p> <p>(3) 全国で「心臓突然死」の減少を図るため、公共や民間施設に自動体外式除細動器(AED)の配備が広がっています。県内の普及状況及びAEDを使っでの救急救命講習会の実施について伺います。</p>		

4 雇用政策について

- (1) 沖縄キャリアセンターは県内の若年者雇用政策の重要拠点になり得るものと考えますが、取り組み状況及び成果を伺います。
- (2) 8月3日、沖縄キャリアセンターの「北部ブランチ」を視察したが、市郊外に設置されており利用者が限られている印象を受けました。北部に住む学生や親が気軽に立ち寄れるよう市街地に移す必要があると思うが見解を伺います。
- (3) 障害者の雇用促進及び県内企業の採用状況をお聞かせください。

5 観光・文化交流について

- (1) 「美ら島沖縄大使」の任期は5年ですが、沖縄をアピールするには一、二年程度ごとに追加推薦しすそ野を広げる必要があると思うが、見解を伺います。
- (2) 文化や芸術を通して県外・国外に日常的に沖縄を宣揚している団体等を仮称「沖縄文化大使」として認証し、より沖縄をPRしていただく考えはないか伺います。

6 道路行政について

- (1) 那覇市内の交通渋滞解消の取り組み状況を伺います。
- (2) 沖縄西海岸道路の整備状況を伺います。
- (3) 新都心地区の中環状線と高速那覇インターとの道路構想及び湾岸道路との接続計画はどうなっているのかお聞かせください。

7 我が会派の代表質問との関連について